

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
1	30	注②	<p>②イドラ…ペーコンによれば、イドラには、人間に特有の感覚や知覚から生じる「種族のイドラ」、個人の性格や環境から生じる「洞窟のイドラ」、会話で言葉を不適切に使うことから生じる「市場のイドラ」、誤った学説や理論を信じることから生じる「劇場のイドラ」がある。</p>	<p>②イドラ…ペーコンによれば、イドラには、人間に特有の感覚や知覚から生じる「種族のイドラ」、個人の性格や環境から生じる「洞窟のイドラ」、会話で言葉を不適切に使うことから生じる「市場のイドラ」、誤った学説や理論を信じることから生じる「劇場のイドラ」がある。</p>
2	82	29-30	<p>2015年、日米両政府は、ガイドラインを再度改定して、「日米同盟のグローバルな性質」を強調した。これを受けて周辺事態法は改正され、「周辺事態」という地理的な限定がはずされて、名称も重要影響事態法に変更された。また、後方支援として新たに武器・弾薬の提供や兵士輸送が可能になった。そのため、海外で米軍支援をおこなう自衛隊が、戦闘にまきこまれる危険性がさらに高まったとの批判もある。</p>	<p>2015年、日米両政府は、ガイドラインを再度改定して、「日米同盟のグローバルな性質」を強調した。これを受けて周辺事態法は改正され、「周辺事態」という地理的な限定がはずされて、名称も重要影響事態法に変更された。また、後方支援として新たに弾薬の提供や発進準備中の戦闘機への給油、兵士輸送などが可能になった。そのため、海外で米軍などの支援をおこなう自衛隊が、戦闘にまきこまれる危険性がさらに高まったとの批判もある。</p>
3	94	判例1	<p>ハンセン病国家賠償訴訟…ハンセン病患者の人々は、「らい予防法」(1907年制定)によって強制的に療養所に入れられ、子孫を残すことも禁じられた。</p>	<p>ハンセン病国家賠償訴訟…ハンセン病患者の人々は、「らい予防法」(1931年制定)などによって強制的に療養所に入れられ、子孫を残すことも禁じられた。</p>

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
4	119	表2	<p>共有林分割制限違憲判決 (1987.4.22) 共有林の分割請求の制限は、必要限度をこえた不 必要な規則で、合理性もない(29条①) 国会は同条項を廃止</p>	<p>共有林分割制限違憲判決 (1987.4.22) 共有林の分割請求の制限は、必要限度をこえた不 必要な規則で、合理性もない(29条②) 国会は同条項を廃止</p>
5	208	注②	<p>②労働基準法第28条をもとに1959年に最低賃金法が制定され、賃金の最低額を保障すること となった。また、労働基準法の実施と遵守を監督する機関として労働基準監督署が設置された。</p>	<p>②労働基準法第28条をもとに1959年に最低賃金法が制定され、賃金の最低額を保障すること となった。また、労働基準法の実施と遵守を監督する機関として各都道府県に労働局と労働基準監督 署が設置された。</p>